

環境学委員会・健康・生活科学委員会合同 環境リスク分科会
(第25期・第6回) 議事要旨

日時：2022(令和4)年5月30日(木) 13:00~15:00

場所：オンライン会議

出席者：青島、秋葉、浅見、石塚、上田、大塚、小熊、續、中村、那須、野原、渡辺

欠席者：近藤、小野

1. 第5回分科会議事要旨の確認を行った

2. 公開シンポジウム「プラスチックのガバナンス：感染症制御のための衛生環境管理と資源循環」のその後について

- ・2021年12月23日に日本公衆衛生学会共催で行われた標記公開シンポジウムについて、中村年会長から100名ほどの参加者があったことが報告された。
- ・今回は医療について議論を行ったが、パンデミックと社会、カーボンニュートラル等の学術会議で進行中の他の会議との関連についても議論となった。
- ・シンポジウムの内容を雑誌等で公表することが提案され、具体的な方法について議論が行われた。

3. 学術フォーラム「リスク認知と教育」の報告

- ・2022年5月7日に日本学術会議主催で標記学術フォーラムがオンライン開催された。参加者約130名。参加者に講演内容に関して尋ねたアンケートの回答が紹介された。
- ・この内容に関しては「学術の動向」に掲載予定。

4. 「初等・中等教育にリスク教育(仮)」に関する見解あるいは報告の進捗状況および意思の表出について

- ・標記について、6分科会からなるワーキンググループで作成した「意思の表出の申出書」案が紹介された。上記3.の学術フォーラムからの情報を交えながら、リスク教育がいかに行われることが適切かを議論し、見解をまとめるとの趣旨が紹介された。
- ・意思の表出の内容について、議論が行われた。

5. その他の活動方針

- ・学会におけるシンポジウム提案について提案があった。

6. その他

- ・24期に発出した提言の英文化は作業中であることが報告された。